

横須賀市児童生徒読書活動調査（報告書）

令和6年（2024年）3月

横須賀市教育委員会

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	2
1	児童生徒の読書活動の状況	2
2	小・中学校における読書活動推進の取り組みの状況	10
調査票		
	小・中学校児童生徒用 読書活動の状況 調査票	13
	高等学校生徒用 読書活動の状況 調査票	16
	小・中学校用 読書活動推進の取り組みの状況 調査票	19

I 調査の概要

1 調査の目的

本市児童生徒の読書活動と小・中学校における読書活動推進の取り組みの状況を把握し、第4次横須賀市子ども読書活動推進計画（計画期間：令和4～7年度）掲載事業の効果検証と図書館や学校での取り組みの参考とするため

2 調査の概要

児童生徒対象と学校を対象に、次の2つの調査を実施

（1）児童生徒の読書活動の状況

①調査内容

児童生徒の読書冊数や、読書についての意識、学校図書館の利用状況など

②調査対象

市立小学校4～6年生、中学校、横須賀総合高等学校の各学年・年次の抽出1クラスの児童生徒

区分	回答者数	(参考) 児童生徒数 令和5年5月1日現在
小学校（46校）	3,472人	（4～6年生） 8,372人
中学校（23校）	1,949人	8,590人
高等学校（全日制・定時制）	165人	1,124人
合 計	5,586人	18,086人

（2）小・中学校における読書活動推進の取り組み状況

①調査内容

読書推進の活動、ボランティアの活用状況、学校図書館の開館状況など

②調査対象

市立小学校・中学校

3 調査の実施時期

令和5年12月

児童生徒の読書活動の状況の調査対象基準は令和5年11月の1カ月間

Ⅱ 調査結果の概要

1 児童生徒の読書活動の状況

全国の数値 出典：「第 68 回学校読書調査報告」（全国図書館協議会）

調査基準は令和 5 年 5 月の 1 カ月間

高校生の前回調査は子ども読書推進計画策定時の令和 2 年度

（1）11 月 1 カ月間の読書冊数

小学生 0.5 冊増、中学生は 0.4 冊減、高校生は 0.6 冊の増となっている。中学生は前回に続き、全国平均を上回った。小学生・中学生ともに、紙の本が増、電子書籍が減となっている。

高校生の読書冊数は、全国平均と同様に少ないが、半分が電子書籍となっている。

不読率（1 カ月間に本を 1 冊も読まない児童生徒の割合）は、小学生・中学生は微増、高校生は減となっている。全校種とも、前回に続き、全国平均を上回っている。

【1 カ月間に読んだ本の冊数 全国との比較】

（ ）はうち電子書籍の冊数

小学生

（冊）

区分	今回調査（5 年度）			前回調査（4 年度）		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
横須賀	11.3 (1.9)	4.2 (1.2)	9.4 (1.9)	10.8 (2.8)	4.4 (1.4)	9.7 (3.2)
全国	12.6 (1.0)	3.4 (0.4)	－	13.2 (1.0)	3.3 (0.4)	－

中学生

（冊）

区分	今回調査（5 年度）			前回調査（4 年度）		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
横須賀	7.4 (2.7)	2.7 (1.1)	10.4 (4.1)	7.8 (3.4)	3.0 (1.1)	9.6 (4.7)
全国	5.5 (0.9)	3.0 (0.7)	－	4.7 (0.7)	3.1 (0.7)	－

高校生

（冊）

区分	今回調査（5 年度）			前回調査（2 年度）		
	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
横須賀	1.8 (0.9)	1.0 (0.6)	8.3 (5.1)	1.2	0.5	4.7
全国	1.9 (0.4)	1.5 (0.6)	－	1.4	0.9	－

【１カ月間に読んだ紙の本の冊数別の割合】

(%)

区分		平均読書冊数	０冊	１～４冊	５冊以上
小学生	５年度	９.４冊	１１.９	３６.４	５１.８
	４年度	８.０冊	１１.５	３２.４	５６.１
中学生	５年度	４.７冊	２６.６	４７.９	２５.４
	４年度	４.４冊	２７.９	４３.２	２８.９
高校生	５年度	０.９冊	６３.１	３１.２	５.７
	２年度	１.２冊	５９.６	３５.４	５.０

【１カ月間に読んだ電子書籍の冊数別の割合】

(%)

区分		平均読書冊数	０冊	１～４冊	５冊以上
小学生	５年度	１.９冊	７４.６	１４.９	１０.５
	４年度	２.８冊	６２.５	１８.５	１９.１
中学生	５年度	２.７冊	６９.９	１６.４	１３.７
	４年度	３.４冊	６０.９	１６.９	２２.２
高校生	５年度	０.９冊	８３.０	１２.４	４.６
	２年度	(未実施)			

【１カ月間に読んだ紙の本と電子書籍ともに０冊の児童生徒の割合 全国との比較】

(%)

区分		今回調査（５年度）	前回調査（４年度） （高校は２年度）
小学生	横須賀市	１０.６	９.４
	全国	７.０	６.４
中学生	横須賀市	２２.３	２１.４
	全国	１３.１	１８.６
高校生	横須賀市	５５.８	５９.６
	全国	４３.５	５５.３

(2) 電子書籍の利用状況

小学生、中学生ともに、「よく利用する」、「ときどき利用する」が減、「利用したことがない」は増となっている。「利用したことがない」は、全国平均より少ない。

(%)

区分		よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無効回答
小学生	5年度	9.8	13.7	24.1	52.3	0.0
	4年度	14.4	17.6	22.0	45.9	0.0
中学生	5年度	20.7	21.8	26.5	31.0	0.0
	4年度	27.7	22.1	23.3	26.9	0.0
高校生	5年度	32.1	27.3	20.6	18.8	1.2
	2年度	未実施				

《参考》全国の調査結果

【問】電子書籍を読んだことがあるか

(%)

区分	性別	①ある	②ないが読みたい	③ないし読みたくない	読んだことがない②+③	不明・無回答
小学生	男子	27.4	34.5	34.8	69.3	3.3
	女子	33.4	39.3	24.0	63.3	3.3
中学生	男子	41.8	25.3	31.1	56.4	1.8
	女子	55.5	24.6	17.7	42.3	2.3
高校生	男子	54.1	19.8	24.4	44.2	1.8
	女子	56.3	23.4	19.1	42.5	1.1

(3) 紙の本と電子書籍のどちらを読みたいか

全校種ともに、電子書籍より紙の本を希望する割合が高いが、中学生・高校生は約半数が「電子書籍を読みたい」、「両方読みたい」と回答している。

(%)

区分		紙の本	電子書籍	両方読みたい	両方読みたくない	無効回答
小学生	5年度	52.3	12.2	26.3	9.1	0.0
	4年度	45.1	14.9	33.5	6.5	0.0
中学生	5年度	40.9	20.3	28.4	10.3	0.1
	4年度	35.9	24.1	31.2	8.7	0.0
高校生	5年度	46.7	17.6	31.5	2.4	1.8
	2年度	未実施				

《参考》全国の調査結果

【問】紙の本と電子書籍のどちらが内容を理解しやすいか

(回答対象は電子書籍を読んだことがある児童生徒)

(%)

区分	性別	紙の本	電子書籍	どちらも同じ	わからない	不明・無回答
小学生	男子	32.0	22.5	37.0	3.7	4.8
	女子	32.1	19.3	41.4	4.1	3.0
中学生	男子	24.2	15.9	54.8	2.8	2.3
	女子	25.1	9.4	60.7	3.5	1.3
高校生	男子	26.0	10.0	60.3	2.3	1.5
	女子	31.0	5.3	60.3	2.4	0.9

(4) 自分で興味を持って選んだ本の有無

回答対象は1冊以上読んだ児童生徒。主体的に読書に取り組んでいるかを測る設問。

「ある」は、小学生、中学生ともに微減、高校生は小・中学生に比べ割合が高い。

(%)

区分		ある	ない	無効回答
小学生	5年度	77.7	22.2	0.1
	4年度	77.9	18.8	3.3
中学生	5年度	77.1	22.4	0.5
	4年度	77.6	22.4	0.0
高校生	5年度	84.1	5.8	10.1
	2年度	未実施		

(5) 読みたい本のジャンル

全校種とも物語・小説等が最も多い。次いで、小学生、中学生はスポーツや芸術、自然科学、高校生はこころや人生について考える本となっている。

(%)

ジャンル	小学生	中学生	高校生
物語、小説、詩、エッセーなど	45.1	59.7	53.9
スポーツや音楽・美術など芸術	16.0	13.4	9.7
自然科学(算数・宇宙・動物・虫・植物)	11.1	6.1	2.4
日本や外国の歴史・地理	8.0	4.4	2.4
技術(もの作り・料理・手芸)や機械・乗物	6.7	4.1	2.4
こころや人生について考える本	4.1	4.0	10.3
調べるための本(図鑑・地域の資料など)	2.9	2.1	3.0
言葉(日本語や外国語・方言)	2.9	3.2	3.0
いろいろな仕事(農業・漁業・商業)	1.6	1.6	0.6
社会のしくみや民族の文化(行事・民話)	1.5	1.4	1.2
無効回答	0.2	0.2	10.9

(6) もっと本を読むための効果的な工夫

「学校で定期的に読書をする時間をつくる」、「学校図書館に読みたいと思う本を増やす」が約半数を占めている。また、電子書籍について、一定の期待がある。

(%)

効果的な工夫	小学生	中学生	高校生
学校で定期的に読書をする時間をつくる	37.2	33.4	35.2
学校図書館に読みたいと思う本を増やす	19.4	16.8	13.3
1人1台端末で電子書籍を利用できる	11.5	19.1	—
学校図書館を昼休みや放課後にいつも開ける	8.2	8.2	—
大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる	7.9	5.7	13.3
放課後や休日に自由時間が増える	5.4	9.1	21.8
1人1台端末で市立図書館の本が予約できる	3.2	2.4	—
市立図書館・図書室に読みたいと思う本を増やす	2.6	2.0	0.6
市立図書館で電子書籍を借りることができる	1.6	1.2	7.9
無効回答	0.1	0.1	4.8
その他	2.9	1.9	3.0

「その他」(自由記載)の抜粋

小学生・中学生

- ・アンケートで読みたい本を聞いて、それを学校図書館に置く
- ・イベントの実施(読書会、読み聞かせ、おすすめの本を紹介し合うなど)
- ・おすすめの本を紹介する
- ・マンガを多く置く

小学生

- ・学校図書館に予約制度をつくる
- ・学校図書館に人気の本を複数冊置く
- ・学校図書館で借りる本の数を増やす

中学生

- ・朝読書の時間に、本を選んだり借りたりしたい
- ・授業で学校の図書館に行く、借りる時間をつくる
- ・強制的に昼休み読書の日をつくる
- ・授業で市立図書館訪問
- ・教室に借りることができる本を置く
- ・本が苦手な生徒用に短くて読みやすい本を教室に置く

高校生

- ・図書館に行かず、ウェブやアプリで電子書籍を借りることができる
- ・ユーチューブでの本の紹介
- ・静かな空間の図書館がある
- ・読書という科目を作る

(7) 読書の好ききらい

「好き」、「どちらかといえば好き」の合計は、小学生は微減、中学生は微増だが、小学生・中学生ともに「好き」が微増、「きらい」が微減している。高校生は、小学生・中学生に比べ、「きらい」の割合が低い。

(%)

区分		好き	どちらかとい えは好き	どちらかとい えはきらい	きらい	無効 回答
小学生	5年度	40.0	38.8	15.5	5.7	0.1
	4年度	39.9	39.9	14.1	6.0	0.0
中学生	5年度	36.3	37.9	17.7	8.1	0.1
	4年度	33.5	40.0	18.1	8.3	0.0
高校生	5年度	40.6	43.0	12.1	2.4	1.8
	2年度	40.5	37.6	12.9	9.0	0.0

(8) 授業以外での学校図書館の利用状況

「よく利用する」、「ときどき利用する」の合計は微増、「あまり利用しない」「利用したことがない」の合計は微減となっている。

(%)

区分		よく 利用する	ときどき 利用する	あまり 利用しない	利用した ことがない	無効 回答
小学生	5年度	12.6	32.6	47.7	7.1	0.1
	4年度	13.5	31.1	49.0	6.5	0.0
中学生	5年度	7.1	18.1	47.7	27.0	0.1
	4年度	6.3	17.3	45.7	30.7	0.0

(9) 学校図書館を利用しない理由

回答対象は学校図書館を「あまり利用しない」、「利用したことがない」と回答した児童生徒。小学生、中学生ともに「利用したいが他の用事を優先」や「本に興味がない」、「本は買うなど手元にある」が多い。

(%)

区分	利用したい が他を優先	本に興味 がない	本は買うな ど手元に ある	利用したいが 図書館が閉ま っている、遠い	その他	無効 回答
小学生	38.8	27.3	20.4	6.8	5.5	1.1
中学生	25.4	33.3	26.6	8.4	5.8	0.4

「その他」（自由記載）の抜粋

小学生

- ・本を期限までに返せない
- ・人が触った本が苦手（自分の本しか触りたくない）
- ・何を讀んだらいいかわからない

中学生

- ・人が多かったり、うるさかったりするため利用しづらい
- ・接点がなさすぎる、気軽感がない
- ・電子書籍のほうが良い
- ・図書館がいつ開いているのかわからない、昼休みの時間が短く時間がない

小学生・中学生

- ・読みたい本がない（興味がある本が少ない、マンガがない）
- ・（借りに行くこと、返しに行くことが）面倒くさい

(10) 横須賀市や横須賀市立図書館の情報の閲覧状況（高校生への質問）

市や図書館の情報媒体について、「見たことがない」が約7割と多いが、2割以上は図書館や市のホームページ、LINE、XなどSNSの情報を見たことがあると回答している。

(%)

情報媒体	割合
横須賀市立図書館ホームページ	10.1
横須賀市ホームページ	8.4
広報よこすか	5.6
横須賀市LINE	2.2
横須賀市X	2.2
横須賀市立図書館X	0.6
見たことがない	69.3
無効回答	1.7

(11) 第4次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		目標 (令和7年度)	令和5年度	令和4年度 高校生 令和2年度)
1 か月間の平均読書冊数	小学生	9.6 冊	11.3 冊	10.8 冊
	中学生	4.7 冊	7.4 冊	7.8 冊
自分で興味を持って選んだ本を1 か月に1 回以上読んだ子どもの割合	小学生	100%	77.7%	77.9%
	中学生	100%	77.1%	77.6%
本を読むことが好きな子どもの割合	小学生	88.2%	78.8%	79.8%
	中学生	80.9%	74.2%	73.5%
	高校生	88.1%	83.6%	78.1%

(12) 調査結果の分析

読書冊数は、昨年度と同様に目標を上回り、子ども読書活動推進事業の一定の効果と考えられるものの、不読率については、小学校 10.6%、中学校 22.3%と、全国平均を上回っており、今後も、あらゆる手段を用いて、子ども読書の推進に努めていく必要がある。

子どもたち自身の考える読書活動を推進する工夫として、学校での読書時間の確保や、蔵書の充実、1人1台端末を活用した電子書籍が読める環境整備などがあげられており、これらに応える施策を実施していく必要がある。

2 小・中学校における読書活動推進の取り組みの状況

調査対象 小学校 46 校 中学校 23 校

(1) 今年度実施した読書の推進に関する活動 (複数回答可)

回答	小学校	中学校
朝読書	37 校	15 校
読み聞かせ (おはなし会)	37 校	4 校
図書委員会の児童生徒による取り組み	45 校	22 校
読書週間における読書イベント	41 校	15 校
読書感想画の取り組み	45 校	9 校
読書感想文の取り組み	46 校	21 校

(2) 今年度の読書活動へのボランティアの活用状況

回答	小学校	中学校
活用している	32 校	6 校
活用していない	14 校	17 校

(3) ボランティアが実施する具体的な取り組み

(「ボランティアを活用している」と回答した学校に対する設問) (複数回答可)

回答	小学校 (32 校)	中学校 (6 校)
読み聞かせ (おはなし会)	26 校	0 校
学校図書館の蔵書の受入・廃棄等	15 校	6 校
学校図書館の環境整備 (掃除・飾付等)	21 校	5 校
学校図書館の図書の貸出・返却	2 校	1 校
その他	3 校	0 校

(4) ボランティアを活用していない理由

(「ボランティアを活用していない」と回答した学校に対する設問) (複数回答可)

回答	小学校 (14 校)	中学校 (17 校)
活用したいが人の確保が難しい	4 校	1 校
活用したいがどのような活動を行ってもらえばよいかわからない	4 校	7 校
必要性を感じない	4 校	8 校
その他	3 校	1 校

(5) 市立図書館から配布されるブックリストの活用状況

回答	小学校	中学校
配布のみ	18 校	6 校
ブックリストを活用した読書を勧めている	3 校	1 校
学校図書館の選書に活用している	25 校	16 校

(6) 今年度の学校図書館の開館状況

回答	小学校	中学校
特別な事がなければ、毎日開館している	44 校	19 校
週に数回開館している	2 校	4 校

(7) 1日のうち、学校図書館が開館している時間

回答		小学校	中学校
常時開けている		30 校	0 校
一定時間 開けている	昼休み・中休み・放課後	0 校	—
	昼休み・中休み	16 校	—
	昼休み・放課後	0 校	5 校
	昼休みのみ	0 校	18 校

(8) 学校図書館の図書の貸し出しへの対応

(複数回答可)

回答	小学校	中学校
教職員	40 校	13 校
学校司書	44 校	13 校
児童生徒（図書委員など）	45 校	23 校
学校図書館ボランティア	2 校	1 校

(9) 学校図書館の利用指導（年1回以上のオリエンテーション）の実施状況

回答	小学校	中学校
全学年で実施	43 校	15 校
一部の学年で実施	3 校	8 校

(10) 1人1台端末導入後の、読書・調べ学習における電子書籍の利用状況

回答	小学校	中学校
青空文庫など無料の電子書籍サービスを活用している	2校	2校
活用したいが、適当なコンテンツがなく活用できていない	8校	8校
活用したいが、読書や調べ学習を行う時間的余裕がない	2校	2校
紙の本を活用するため、電子書籍を活用していない	30校	9校
その他	4校	2校

「その他」の主な記述

- ・ウェブサイトを利用し調べ学習を行っている。
- ・電子書籍の活用について考えたことがなかった。無料の電子書籍サービスについて情報を集め、今後活用していきたい。
- ・活用したいが、どのようなコンテンツがあるのか教職員が調べる時間的余裕がない。

(11) 調査結果の分析

- ・新型コロナウイルスの影響で、学校図書館ボランティアの活用を控えていた小学校が活用を再開し、特に、読み聞かせを行う小学校が増えた（令和4年度19校→26校）。
- ・中学校への学校司書の全校配置2年目の成果として、「学校図書館の利用指導」を全学年で実施する学校が増加し（令和4年度11校→15校）、「放課後開館」も増加している（令和3年度0校→令和4年度4校→5校）。また、授業以外での読書活動も活発化している（読書感想画：令和4年度6校→9校、読書感想文：令和4年度17校→21校、朝読書：令和4年度13校→15校）。
- ・電子書籍については、利活用検討に意欲的な学校と、小学校を中心に「紙の本」を大切にしたいと考える学校に分かれている。教職員が、電子書籍と紙の本のそれぞれの特徴について理解を深め、児童生徒の発達段階に合った読書指導を展開していけるように指導していくことが重要である。

令和5年度 小・中学校児童生徒用 読書活動の状況 調査票

この調査（ちょうさ）は、読書（どくしょ）についてのアンケート調査です。
アンケート結果は、学校全体の合計や平均（へいきん）を公表します。

【問 1】 あなたの学校を選んでください。 回答 小学校・中学校

【問2】 あなたの学年を○で囲んでください。

回答	小学生：4年生	中学生：1年生
	5年生	2年生
	6年生	3年生

『紙の本』について質問します。

スマホやタブレット、パソコンで読む『電子書籍（でんししょせき）』は入れない
 ください。

【問3】 あなたは11月の1か月間に、紙の「本・雑誌（ざっし）・マンガ」を何冊（なんさつ）読みましたか。ア、イ、ウのそれぞれについて、読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】 紙の本 () 冊

【イ】 紙の雑誌 () 冊
(マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)

【ウ】 紙のマンガ（ ）冊
(雑誌は入りません)

スマホやタブレット、パソコンで読む本『電子書籍』（本・雑誌・マンガすべて）について質問します。

【問4】 あなたは、『電子書籍』を利用することがありますか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答

- 1 よく利用する
- 2 ときどき利用する
- 3 あまり利用しない
- 4 利用したことがない

【問5】 あなたは11月の1か月間に、『電子書籍』を何冊読みましたか。
ア、イ、ウのそれぞれについて読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】『電子書籍』の本 () 冊
【イ】『電子書籍』の雑誌 () 冊
(マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)
【ウ】『電子書籍』のマンガ () 冊 (雑誌は入りません)

『紙の本』・『電子書籍』の両方の本（雑誌やマンガは入りません）について質問します。

【問6】 11月の1か月の間に、1冊以上読んだ人にたずねます。

あなたが11月の1か月の間に読んだ本の中に、『読んでみたい』と感じて自分でえらんだ本は1冊以上入っていましたか。

あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。（人からすすめられた本でも、『読んでみたい』と感じていれば自分でえらんだ本になります。）

- 回答
- 1 自分で選んだ本が1冊以上入っていた
 - 2 入っていない
 - 3 0冊のため無回答

【問7】 あなたは『紙の本』と『電子書籍』のどちらを読みたいと思いますか。あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 紙の本
 - 2 電子書籍
 - 3 どちらも読みたい
 - 4 どちらも読みたくない

【問8】 これから市立図書館や学校図書館で、どんな本を読みたいと思いますか。最もあてはまる回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 01 物語、小説、詩、エッセイなど（絵本もここに入ります）
 - 02 言葉（日本語や外国語・方言）の本
 - 03 スポーツの本や音楽・図工・美術・写真など芸術（げいじゅつ）の本
 - 04 いろいろな仕事（農業・漁業・商業）の本
 - 05 技術（ものづくり・料理・手芸）や機械・乗り物の本や図鑑など
 - 06 自然科学（算数・宇宙・動物・虫・植物）の本や図鑑など
 - 07 社会のしくみ（政治や経済（けいざい）・国際理解（こくさいりかい）や民族の文化（行事・民話）の本
 - 08 日本や外国の歴史・地理の本
 - 09 ところや人生について考える本
 - 10 調べるための本（百科事典・図鑑・横須賀などの地域の資料など）

【問 9】 みんなが今よりもっと本を読むためのくふうとして、一番効果（こうか）があると思うのは、つぎのうちのどれですか。1 つだけ選んで○で囲んでください。その他の場合は、その内容を書いてください。

- 回答
- 1 学校で定期的（ていきてき）に読書をする時間をつくる
 - 2 学校図書館を昼休みや放課後（ほうかご）にいつも開ける
 - 3 学校図書館に読みたいと思う本をふやす
 - 4 市立図書館・コミュニティセンターの図書室に、読みたいと思う本をふやす
 - 5 学校の1人1台端末で市立図書館の本を予約できる
 - 6 大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる
 - 7 放課後や休日に自由時間が増える
 - 8 学校の1人1台端末で『電子書籍』が利用できる
 - 9 市立図書館で『電子書籍』を借りることができる
- その他: ()

【問 10】 あなたは、授業（じゅぎょう）ではない時間（昼休みなど）に、学校図書館を利用しますか。1 つだけ選んで○で囲んでください。

- 回答
- 1 よく利用する
 - 2 ときどき利用する
 - 3 あまり利用しない
 - 4 利用したことがない

【問 11】 【問 10】で『あまり利用しない』、『利用したことがない』と答えた人に質問します。 学校図書館を利用しない理由は何ですか。 1 つだけ選んで○で囲んでください。その他は、理由を書いてください。

- 回答
- 1 利用したいが、他にもやりたいことや用事があるから
 - 2 利用したいが、図書館がしまっていたり、教室から遠い所にあったりするから
 - 3 本は買う、借りるなどして読む本が手元にあるから
 - 4 本に興味（きょうみ）がないから
- その他 ()

【問 12】 これが、最後の質問です。あなたは本を読むことが好きですか。あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 好き
 - 2 どちらかといえば好き
 - 3 どちらかといえばきらい
 - 4 きらい

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和5年度 高等学校生徒用 読書活動の状況 調査票

この調査は、読書についてのアンケート調査です。

アンケート結果は、学校全体の合計や平均値を公表します。

【問1】 あなたの年次を○で囲んでください。

回答 1 年次生
2 年次生
3 年次生
4 年次生

『紙の本』について質問します。

スマホやタブレット、パソコンで読む『電子書籍』は入れないでください。

【問2】 あなたは11月の1か月間に、紙の「本・雑誌・マンガ」を何冊読みましたか。ア、イ、ウのそれぞれについて、読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】 紙の本 （ ） 冊

【イ】 紙の雑誌 （ ） 冊
(マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)
【ウ】 紙のマンガ () 冊
(雑誌は入りません)

スマホやタブレット、パソコンで読む本『電子書籍』（本・雑誌・マンガすべて）について質問します。

【問3】 あなたは、『電子書籍』を利用することがありますか。
あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

回答 1 よく利用する
2 ときどき利用する
3 あまり利用しない
4 利用したことがない

【問4】 あなたは11月の1か月間に、『電子書籍』を何冊読みましたか。
ア、イ、ウのそれぞれについて読んだ本の冊数を（ ）に記入してください。

回答 【ア】『電子書籍』の本 （ ） 冊
【イ】『電子書籍』の雑誌 （ ） 冊
(マンガの週刊誌・月刊誌なども入ります。)
【ウ】『電子書籍』のマンガ () 冊 (雑誌は入りません)

『紙の本』・『電子書籍』の両方の本（雑誌やマンガは入りません）について質問します。

【問5】 11月の1か月の間に、1冊以上読んだ人にたずねます。

あなたが11月の1か月の間に読んだ本の中に、『読んでみたい』と感じて自分で選んだ本は、1冊以上入っていましたか。

あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。（人からすすめられた本でも、『読んでみたい』と感じていれば自分で選んだ本になります。）

- 回答
- 1 自分で選んだ本が1冊以上入っていた
 - 2 入っていない
 - 3 0冊のため無回答

【問6】 あなたは『紙の本』と『電子書籍』のどちらを読みたいと思いますか。あてはまる回答を1つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 紙の本
 - 2 電子書籍
 - 3 どちらも読みたい
 - 4 どちらも読みたくない

【問7】 これから市立図書館や学校図書館で、どんな本を読みたいと思いますか。最もあてはまる回答を1つだけ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 01 物語、小説、詩、エッセイなど（絵本もここに入ります）
 - 02 言葉（日本語や外国語・方言）の本
 - 03 スポーツの本や音楽・図工・美術・写真など芸術の本
 - 04 いろいろな仕事（農業・漁業・商業）の本
 - 05 技術（ものづくり・料理・手芸）や機械・乗り物の本や図鑑など
 - 06 自然科学（算数・宇宙・動物・虫・植物）の本や図鑑など
 - 07 社会のしくみ（政治や経済・国際理解）や民族の文化（行事・民話）の本
 - 08 日本や外国の歴史・地理の本
 - 09 こころや人生について考える本
 - 10 調べるための本（百科事典・図鑑・横須賀などの地域の資料など）

【問 8】 みんなが今よりもっと本を読むための工夫として、一番効果があると思うのは、つぎのうちのどれですか。1 つだけ選び、あてはまる回答の数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 学校で定期的に読書をする時間をつくる
 - 2 学校図書館に読みたいと思う本を増やす
 - 3 市立図書館・コミュニティセンターの図書室に読みたいと思う本を増やす
 - 4 大人や友達が『おすすめの本』を教えてくれる
 - 5 放課後や休日に自由時間が増える
 - 6 市立図書館で『電子書籍』を借りることができる
 - 7 その他()

【問 9】 横須賀市や横須賀市立図書館の情報を見たことがありますか？あてはまる回答の数字をすべて○で囲んでください。

- 回答
- 1 広報よこすか
 - 2 横須賀市ホームページ
 - 3 横須賀市LINE
 - 4 横須賀市X
 - 5 横須賀市立図書館ホームページ
 - 6 横須賀市立図書館X
 - 7 見たことがない
 - 8 その他()

【問 10】 これが、最後の質問です。
あなたは本を読むことが好きですか。あてはまる回答を 1 つ選び、その数字を○で囲んでください。

- 回答
- 1 好き
 - 2 どちらかといえば好き
 - 3 どちらかといえばきらい
 - 4 きらい

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

令和5年度 小・中学校用読書活動推進の取り組みの状況 調査票

1校につき1回のみの回答をお願いします。

設問の該当する項目にチェックをしてください。

『その他』の場合は、具体的に入力してください。

【問1】学校名を選択してください。

【問2】今年度、実施した又は実施予定の読書の推進に関する活動を教えてください。

(複数回答可)

- ☐ 朝読書
- ☐ 読み聞かせ(おはなし会)
- ☐ 図書委員会の児童生徒による取り組み(本の紹介や読書キャンペーンなど)
- ☐ 読書週間等における読書イベント
- ☐ 読書感想画の取り組み
- ☐ 読書感想文の取り組み
- ☐ 実施していない
- ☐ その他()

【問3】今年度は読書活動に図書ボランティアを活用していますか。(予定も含みます。)

- ☐ 活用している
- ☐ 活用していない

【問4】【問3】で『活用している』と回答した学校にお尋ねします。

ボランティアが実施する具体的な取り組みとして、あてはまる項目を全てチェックしてください。

- ☐ 読み聞かせ(おはなし会)
- ☐ 学校図書館の蔵書の受け入れ・廃棄など
- ☐ 学校図書館の環境整備(掃除・飾り付けなど)
- ☐ 学校図書館の図書の貸出・返却
- ☐ その他()

【問5】【問3】で『活用していない』と回答した学校にお尋ねします。

活用していない理由として、あてはまる項目を全てチェックしてください。

- ☐ 活用したいが、人の確保が難しいため
- ☐ 活用したいが、どのような活動を行ってもらえばよいかわからないため
- ☐ 必要性を感じないため
- ☐ その他()

【問6】市立図書館から配布されるブックリストをどのように利用していますか。

- ☐ 配布のみ
- ☐ ブックリストを活用した読書を勧めている
- ☐ 学校図書館の選書に活用している
- ☐ その他()



横須賀市児童生徒読書活動調査 報告書)

令和 6年 (2024 年) 3月 発行

横須賀市立中央図書館
〒238-0017 横須賀市上町 1-61
電話 046-822-2202